

製品名: GSTP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80565**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	GSTP1
別名	PI; DFN7; GST3; FAEES3
遺伝子 ID	2950.0
SwissProt ID	P09211
免疫原	大腸菌で発現したヒト GSTP1 の精製された組み換え断片。

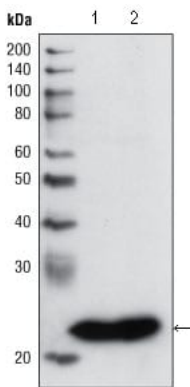
背景

GSTP1 (グルタチオン S 転フェラーゼ、 $\pi 1$) は GST3/DFN7 と呼ばれ、多くの疎水性および求電子性化合物と還元型グルタチオンとの抱合を触媒することで解毒に重要な役割を果たす酵素ファミリーです。GSTP1 は腫瘍抑制遺伝子のように作用し、不活性

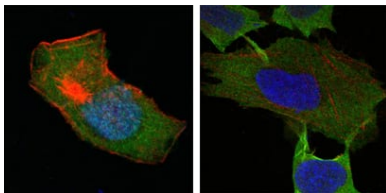
化されると腫瘍の増殖につながります。また、このクラスのグルタチオン S トランスフェラーゼは、前立腺癌、肝癌、乳癌において、体細胞 CpG island の過剰メチル化によって不活性化されることが一般的です。GSTP1 遺伝子座位における制御配列のメチル化は、前立腺癌の大部分 (90%以上) に認められ、転写ダウンレギュレーションと関連しています。

研究分野

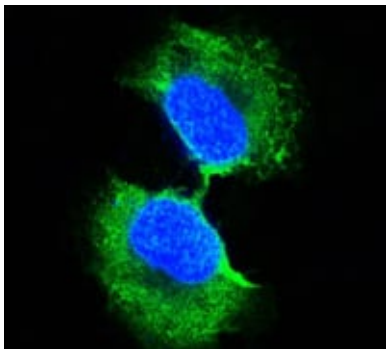
画像データ



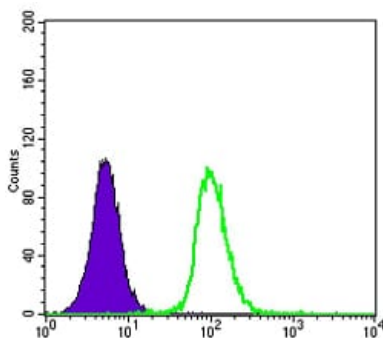
GSTP1 マウス mAb を用いた PC3 細胞溶解物 (1) およびヒト小脳組織溶解物 (2) に対するウエスタンブロット解析。



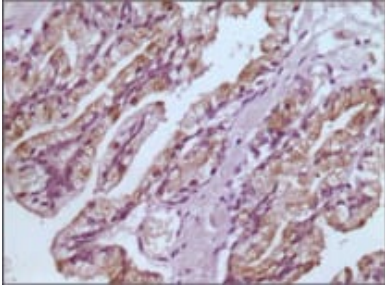
GSTP1 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞 (左) および L-02 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



GSTP1 マウス mAb (緑) を用いた PC-3 細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



GSTP1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



GSTP1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析。